

2017/11/15

日経夕刊
(社会面)

コカリナの音色 NY殿堂に響く

日本の130人が演奏披露

良を重ねて制作。優しい音色が特徴で、公演では広島で被爆した木や、東日本大震災の津波に耐えた岩手県陸前高田市の「奇跡の一本松」で作られたコカリナも使用した。

日本から訪れた合唱団約20人や現地の日本人学校の生徒や教員計約120人と共にベートーベンの「歓喜の歌」など約20曲を演奏すると、会場はスタンディングオベーションで応えた。

演奏を聴いた米南部サウスカロライナ州チャールストンの弁護士、デービッド・ゾエルナーさん(70)は「コカリナの音色はまるで人が歌っているようだった。今まで見たコンサートで一番感動した」と話した。

【ニューヨーク＝共同】米ニューヨークの音楽の殿堂カーネギーホールで、木製の笛コカリナ奏者の黒坂黒太郎さん(68)＝埼玉県飯能市＝率いる「日本コカリナアンサンブル」の約130人が演奏を披露した。

コカリナは黒坂さんが、ハンガリーの露店で売られていた木笛を基に日本国内の木工家と改